

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科：

情報処理 3 年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	Java演習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
2	Java演習Ⅱ	1	60	4	必修	実習	有
3	Java文法Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
4	Java文法Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
5	Javascript	1	60	4	必修	実習	有
6	データベース演習(SQL)Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
7	アルゴリズムⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	有
8	セキュリティⅠ	1	30	2	必修	講義	無
9	システム設計	1	30	2	必修	講義	有
10	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
11	ハードウェアⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
12	ネットワークⅠ	1	30	2	必修	講義	有
13	ネットワークⅡ	1	30	2	必修	講義	有
14	ホームページ	1	60	4	必修	実習	有
15	表計算基礎Ⅰ	1	30	2	必修	実習	有
16	表計算基礎Ⅱ	1	60	4	必修	実習	有
17	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	無
18	ITパスポート対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
19	ITパスポート対策Ⅱ	1	30	2	必修	講義	無
20	基本情報対策	1	30	2	必修	講義	有
21	基本情報科目A対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
22	基本情報科目B対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
23	基礎学力Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
24	基礎学力Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
25	ビジネスマナーⅠ	1	30	2	必修	講義	有
26	経営	1	30	2	必修	講義	有
27	体育実習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	無
28	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象																
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期																
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数																
専門 必修	実習	Java演習 I	仲 智弘	有	4 単位 60 時間																
【授業の到達目標及びテーマ】																					
プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。																					
【講義概要】																					
Java文法の講義で理解した知識を基に、演習として実践する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Java言語に触れてみる，Java言語のプログラム構成，出力，算術演算子と式																				
2	変数，データ型，型変換と文字列																				
3	標準入力、条件分岐(if / switch)																				
4	繰り返し（while/for）																				
5	繰り返し応用（2重ループ，break）／配列																				
6	配列②／多次元配列																				
7	メソッドの基本																				
8	メソッドの応用（オーバーロード、配列の受け渡し）																				
9	静的クラス																				
10	パッケージ																				
11	クラスの基本，インスタンス化																				
12	コンストラクタ																				
13	継承																				
14	まとめ																				
15	まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table><tr><td>評価項目</td><td>課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（</td><td>）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td>10%</td><td>10%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						評価項目	課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計	割合	80%		10%	10%			100%
評価項目	課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計														
割合	80%		10%	10%			100%														
【教員紹介】																					
独立系 I T企業にて S E ・ P Gとしてソフトウェア開発業務に従事																					
【教科書・参考文献】																					
スッキリわかるJava 入門 第4版 インプレス社																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 後期														
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		仲 智弘	有	4 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																				
Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける。																				
【講義概要】																				
Java文法の講義で理解した知識を基に、演習として実践する																				
回	授業計画及び学習の内容																			
1	前期の復習、配列の複製、拡張for、正確な計算、可変長引数、クラスについて																			
2	インスタンスについて、フィールドの初期値、練習問題																			
3	コンストラクタ、オーバーロード、クラス変数																			
4	アクセス修飾子、setter/getter																			
5	標準Libraryについて																			
6	中間試験対策																			
7	中間試験																			
8	文字列について																			
9	例外について																			
10	パッケージとクラスパスについて																			
11	継承について																			
12	ポリモーフィズムについて																			
13	クラスの応用																			
14	まとめ																			
15	まとめ																			
【成績評価方法】																				
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td>10%</td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> (補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。							評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		10%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計														
割合	80%		10%	10%		100%														
【教員紹介】																				
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事																				
【教科書・参考文献】																				
※前期と同じ スッキリわかるJava 入門 第4版 インプレス社																				

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	Java文法 I	仲 智弘	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。							
【講義概要】							
javaのプログラムの作成方法を学習する。また、他の開発言語でも使われる基本的なスキル（変数、分岐、ループ、配列、関数）を習得する。後半は、javaや他のオブジェクト指向言語のスキルに欠かせないクラスやインスタンス化について、習得する教科書をベースに説明するため、教科書は毎回必携すること。（貸出不可）							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Java言語に触れてみる，Java言語のプログラム構成，出力，算術演算子と式						
2	変数，データ型，型変換と文字列						
3	標準入力、条件分岐(if / switch)						
4	繰り返し（while/for）						
5	繰り返し応用（2重ループ，break）／配列						
6	配列②／多次元配列						
7	中間試験						
8	メソッドの基本						
9	メソッドの応用（オーバーロード、配列の受け渡し）						
10	静的クラス						
11	パッケージ						
12	クラスの基本，インスタンス化						
13	コンストラクタ						
14	継承						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		65%	15%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系 IT 企業にて SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事							
【教科書・参考文献】							
スッキリわかるJava 入門 第4版 インプレス社							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ	仲 智弘	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける。							
【講義概要】							
オブジェクト指向に必要なプログラミングスキルを獲得する。具体的には、クラス、継承、インタフェース、多態性、カプセル化について学ぶ(順番は前後する可能性有り)。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。(貸出不可)							
回	授業計画及び学習の内容						
1	前期の復習、配列の複製、拡張for、正確な計算、可変長引数、クラスについて						
2	継承応用						
3	継承とインターフェイス						
4	多態性（アクセス演算子）						
5	多態性（getterとsetter）						
6	Java APIの活用						
7	中間試験						
8	文字列処理と正規表現						
9	日付／時刻処理						
10	コレクション基礎						
11	コレクション応用						
12	例外処理						
13	Java応用（GUI, Webアプリ）						
14	期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		65%	15%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系 IT 企業にて SE・PG としてソフトウェア開発業務に従事							
【教科書・参考文献】							
※前期と同じ スッキリわかるJava 入門 第4版 インプレス社							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Javascript		国井 和昭	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
javascriptの基本を理解し、どのような利用をされているかを知る							
【講義概要】							
javascriptの基本、他言語との違い、独特なオブジェクト型の運用方法などを知り、言語としてのjavascriptを深掘りしていく。Webでの利用方法だけでなく、現在では多岐にわたっているJavascriptの利用方法と、そこで使われる新しい技術について理解を深めていく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	javascriptの成り立ちや動作方法を知る。変数や、型、四則演算などの書式を確認する						
2	分岐、ループ、関数などの使い方、作り方を確認する						
3	関数がオブジェクトであることに起因する独特な関数な使い方と、関数式、関数の引数渡しなどについて知る						
4	オブジェクトについて知り、クラスとの違い、プロトタイプベース、メソッドチェーンなどの仕組みを理解する。						
5	オブジェクトでの継承、オーバーライド、カプセル化などの仕組みをしる。						
6	es6(es2015)であった大幅な変更について知り、どちらの書式も理解できるようにする						
7	ブラウザオブジェクト、DOMなどを学び、html上でjavascriptを動作させる						
8	htmlの書き換え方法、Javascriptからのイベント設定方法などについて知る						
9	jQueryを使い、イベント処理とアニメーションを試す。その際、jQueryを使わなかった場合の書式も同じように試し、理解度を高める。						
10	非同期通信とは何か学び、CORSとJSONPの成り立ちと現在でのセキュリティポリシーの違い、fetchとpromiseの使い方などをしる。						
11	web以外のjavascriptの利用方法について知り、スマートフォン向けアプリの作り方を学ぶ						
12	WebComponentsの仕組みをしり、独自タグを利用する。						
13	javascriptのゲームエンジンPhaserを使い、ミニゲームを作る						
14	授業の振り返り、まとめなど						
15	授業の振り返り、まとめなど						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		30%			70%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
PCゲーム、ガラケー用ゲームなどのディレクターを経て、現在では、Webアプリ、スマホアプリの開発などを行っています。							
【教科書・参考文献】							
リファレンス他							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) I	川前 亘	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
SQLの演習を通して、DDLを用いたDB・TABLE作成、およびDMLによる基本的なデータ操作を身につけることを目標とする。						
【講義概要】						
教科書、プロジェクタ、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	データベースとは					
2	演習用データベース環境の構築					
3	4 大命令の成り立ちと覚えるコツ (SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文)					
4	操作対象の絞り込み (WHERE句、条件式、比較演算子、主キー)					
5	検索結果の加工 (DISTINCT句、ORDER BY句)					
6	文字列にまつわる関数 (LENGTH関数、TRIM関数、REPLACE関数、SUBSTRING関数、CONCAT関数)					
7	集計関数とグループ化 (GROUP BY句、MAX関数、MIN関数、SUM関数、AVG関数、COUNT関数)					
8	副問い合わせⅠ (単一行副問い合わせ)					
9	副問い合わせⅡ (複数行副問い合わせ)					
10	副問い合わせⅢ (表副問い合わせ)					
11	複数テーブルの結合 内部結合 (JOIN句)					
12	複数テーブルの結合 外部結合 (LEFT JOIN句、RIGHT JOIN句、FULL JOIN句)					
13	テーブル作成 データ型と制約Ⅰ (数値型、文字列型、日時型、NOT NULL制約、UNIQUE制約、CHECK制約)					
14	テーブル作成 データ型と制約Ⅱ (主キー制約、外部キー制約)					
15	総まとめ、SQL強化演習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	10%		20%		100%
(補足) ・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有
【教科書・参考文献】						スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム I II	川前 亘	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ フローチャートの表現方法を理解する ・ 基本情報技術者試験で使用する擬似言語を理解する ・ 論理的思考力、基本的なアルゴリズム、およびデータ構造についても学習する。							
【講義概要】							
前半は座学とプリント演習で、プログラミングの基礎技術を学びながらアルゴリズムを考える力（論理的思考）を身に付けていく。 後半はシュミレーターで課題を行っていき、実技的にプログラミング能力を付けていく。適時、小テストや課題を実施して段階的に力を付けていく							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造						
2	変数と定数、擬似言語（順次）						
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し → if,else, elseif						
4	擬似言語（繰り返し）→ for, while						
5	集計①						
6	集計②、中間試験対策						
7	中間試験						
8	中間試験振り返り、二重ループ／複合条件						
9	関数						
10	一次元配列						
11	二次元配列						
12	探索処理（線形探索法、二分探索法）						
13	整列処理①（基本選択法）						
14	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%	20%		10%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有							
【教科書・参考文献】							
擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	セキュリティ I	井元和彦	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティの概念、セキュリティ管理、脅威、攻撃手法、リスク分析、暗号技術、公開鍵基盤、さまざまなセキュリティ技術の基本を知る。							
【講義概要】							
各回のテーマについて解説を行った後、問題演習を行う。セキュリティはそれ単独では成り立たない。ネットワークなどの他のコンピュータ技術についても理解を深めてほしい。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報セキュリティの概念						
2	情報セキュリティ管理						
3	情報セキュリティ諸規程、ISMS、情報セキュリティ組織・機関、セキュリティ評価基準						
4	脅威、攻撃手法 その1						
5	脅威、攻撃手法 その2						
6	共通鍵暗号方式						
7	中間試験						
8	公開鍵暗号方式、ハイブリッド暗号方式						
9	利用者認証、メッセージ認証						
10	電子署名						
11	デジタル証明書、認証局						
12	人的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策						
13	技術的セキュリティ対策						
14	セキュリティ実装技術						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	20%				100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	システム設計	清野ひろし	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
システム設計技術の基本となるウォーターフォールモデルの流れに沿って、設計に必要な技術を学習する。その上でデータ中心設計やアジャイル開発の目的や意味するところを学習する。							
【講義概要】							
ウォーターフォールモデルを基にして、設計の各段階でやるべきことを学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シラバス説明、システム開発モデル						
2	開発コストモデル、要求仕様						
3	要求仕様、システム化準備						
4	練習問題 A の解説、システム分析手法						
5	システム設計図法 DFD、E－R図						
6	構造化チャート						
7	中間試験で理解度のチェック						
8	中間試験開設、練習問題 B の解説、システム設計技法						
9	外部設計						
10	内部設計						
11	練習問題 C 解説、プログラム設計						
12	プログラム設計						
13	DB のテーブル設計						
14	練習問題 D 解説、DB 課題説明、期末範囲説明						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%	10%	15%	5%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
8 年程度 P G， S E として実務経験あり。主に言語関係（C， java， C++， C#， php， python）、 linux、 DBなどを担当する。							
【教科書・参考文献】							
特になし。資料による授業							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア		小泉 真理子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。							
【講義概要】							
講義と各回に関連する科目A試験の過去問演習を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報処理システムの処理形態						
2	高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価 1						
3	情報処理システムの評価 2、ヒューマンインターフェース 1						
4	ヒューマンインタフェース 2、マルチメディア						
5	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム 1						
6	オペレーティングシステム 2、中間試験対策						
7	中間試験☒						
8	オペレーティングシステム 3						
9	プログラム言語と言語プロセッサ						
10	ファイル 1						
11	ファイル 2						
12	データベースの概要 1						
13	データベースの概要 2						
14	データベースの概要 3、いろいろなデータベース、期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（株式会社インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅠⅡ	井元和彦	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。							
【講義概要】							
コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／2進数から10進数への変換						
2	10進数から2進数への変換／2進数と8進数・16進数間の変換						
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数その1						
4	固定小数点数その2／シフト演算						
5	浮動小数点数、誤差						
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置						
7	中間試験						
8	アドレス指定方式、BCD						
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）						
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形						
11	フリップフロップ、ビット演算						
12	キャッシュメモリ、プロセッサの高速化						
13	補助記憶装置						
14	総まとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	20%				100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当							
【教科書・参考文献】							
ITワールド（インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ネットワーク I	石川 章	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。 ・ 基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。							
【講義概要】							
・ 教科書をベースに各項目について説明する。 ・ 演習問題による知識の確認を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ネットワークの歴史と前提知識						
2	ネットワークの種類 1：ネットワークの分類、電話網						
3	ネットワークの種類 2：パケット交換網、携帯電話網						
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV						
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御						
6	前半の補足と復習						
7	中間試験						
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出						
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出						
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術						
11	イーサネット 1：イーサネットによるデータ伝送方法						
12	イーサネット 2：イーサネット用通信機器						
13	通信プロトコルとOSI 参照モデル						
14	後半の補足と復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		30%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
・ 長年通信会社に勤務していたため電話～インターネットなど通信全般に関する広い知識を有しています。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド、演習問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ネットワークⅡ	石川 章	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。 ・ 基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。							
【講義概要】							
・ テキストをベースとした各項目の説明。 ・ 演習問題による知識の確認。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	IPアドレス						
2	TCP/IP(1):主にIPプロトコル、ルーティングなど						
3	TCP/IP(2):主にTCP、UDPプロトコル、ポート番号など						
4	サーバ(1)：サーバの役割、Webとメールサーバ						
5	サーバ(2)：サーバの応用技術、その他サーバ						
6	前半の復習と補足						
7	中間試験						
8	インターネット関連技術：DNS、DHCP、ARP、NAT、NAPT						
9	暗号：暗号の基礎技術全般						
10	セキュリティ技術：暗号の応用技術（SSL、VPNなど）、認証技術						
11	マルウェア・ファイアウォール						
12	サイバー攻撃：その他の脅威と対策						
13	無線LAN・IPv6						
14	後半の復習の補足						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		30%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・ 長年通信会社に勤務していたため電話～インターネットなど通信全般に関する広い知識を有しています。							
【教科書・参考文献】							
・ ITワールド ・ 演習問題（別途配布）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 前期	
講義区分		授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
基礎専門 必修		実習	ホームページ		末満 直樹	有	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウェブページを作成するために必要なHTML/CSSの役割について、その基本を学習する。 各回で行う演習を通じて、制作技術の習得を目指す。							
【講義概要】							
HTML/CSSの基本的な知識と記述方法を学び、その内容を確認・理解するための課題に取り組むことで、基本的なウェブサイトの構築方法を学習していく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTMLの基礎など						
2	HTMLの基本的な書式、見出し、段落、リスト、グループ化						
3	テーブルについて、リンクと画像の挿入						
4	CSSの基礎、外部CSSファイルの読み込み						
5	CSSの基礎、外部CSSファイルの読み込み、各種スタイルの設定						
6	ボックスモデル、背景画像の設定						
7	総合演習						
8	サイト公開の方法、FTPツールについて						
9	フレックスボックスとグリッドレイアウト						
10	フレックスボックスとグリッドレイアウト						
11	ナビゲーション、フォームについて						
12	レスポンシブデザインとメディアクエリ						
13	ウェブサイトの制作演習 1						
14	ウェブサイトの制作演習 2						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー／ネットワーク等の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東（著）、SBクリエイティブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I	佐藤 薫	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Excel2019を使用して表計算の仕組みと特徴を理解し、データ入力から表作成と編集、四則演算と合計や平均などの基本の関数、グラフ機能を実習して表計算の基礎を習得することが目的。必須課題は必ず提出すること。また再提出となった課題は修正点を修正して提出すること。							
【講義概要】							
Excelの機能を正しく習得するために、前半の機能の説明をよく聞きながら操作練習し、理解した後で課題（1～2問）を仕上げるこ と。不明点は積極的に質問してを理解を深めること。プリント等の応用問題、用語や機能に関する小テストもあり。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	第1章（Excelの画面構成、基本用語、データ入力、保存）						
2	第2章（四則演算、合計の関数、簡単なグラフ作成、印刷設定）						
3	第3章（表の編集機能、平均の関数、セル番地の相対参照）						
4	第3章（表示形式の変更、罫線、セルのスタイル）						
5	第4章（セル番地の絶対参照、文字属性の変更）						
6	第4章（最大・最小の関数、データカウントの関数）						
7	第4章（数値の端数処理の関数、セルとシートの保護）						
8	第4章（条件処理の関数、関数のネスト）						
9	総合練習問題-1						
10	第4章（条件付き書式、スパークライン）						
11	第5章（グラフ作成）						
12	第5章（グラフの編集）						
13	総合練習問題-2						
14	まとめ						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で社会人向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当							
【教科書・参考文献】							
30時間でマスター Excel2019（実教出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	佐藤 薫	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
並べ替えや抽出、集計などのデータベース機能、統計関数などの関数、ピボットテーブルやグラフの集計機能、外部データの利用、分析機能、作業の自動化（マクロ）など表計算データを活用するスキルを習得することが目標。また、複数の機能を組み合わせたり、関数を利用して実践的なデータの活用ができるようになることも目指す。						
【講義概要】						
毎回、実習課題を3～4問作成して提出する。機能の概要と操作説明をよく聞き、作成する文書の目的を考えながら課題を仕上げよう。多くの課題を練習することで機能が身に付くので、必須課題が終わったらチャレンジ問題にもチャレンジしよう。教科書に載っていない機能は補足資料としてプリントまたはPDFを配布します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	データベース機能（並べ替え、検索、置換、抽出）					
2	複雑な条件での抽出、テーブル機能、大きな表の印刷機能					
3	データの集計（自動集計、ピボットテーブルの作成）					
4	ピボットテーブルの活用（ピボットグラフ、スライサー、タイムライン）					
5	統計関数（RANK. EQ、LARGE、SMALL） 、論理関数（IFS, SWITCH）					
6	検索/行列関数（VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX） 、関数のネスト（IFERROR）					
7	文字列操作関数（LEFT、RIGHT、LEN、MID、CONCAT、TEXTJOIN） 、文字列の操作（フラッシュフィル）					
8	入力規則の設定、条件付き集計の関数（COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIFS、SUMIFS、AVERAGEIFS）					
9	実践的なデータ管理（予約票） 、シートの保護、ユーザー定義の表示形式					
10	シート間の計算（3-D集計、統合、複数シートのグループ化） 、グラフの応用（複合グラフ、補助円付きグラフ）					
11	WordへのExcelデータの貼り付け、ABC分析、単回帰分析					
12	作業の自動化（マクロの自動記録、マクロの登録）					
13	VBAの基礎（簡単なプログラムの作成）					
14	まとめ					
15	まとめ					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・ 課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%
(補足) ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOSやOffice関連の書籍の執筆も担当。						
【教科書・参考文献】						
30時間でマスター Excel2019（実教出版）						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科３年制	2025		１年　前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門　必修	実習	文書編集基礎	藤田恵子	無	２単位　３０時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
日本語ローマ字入力・特殊記号の入力、ブラインドタッチ入力速度アップ、社内文書社外文書作成、表作成と罫線、箇条書き、段落の設定や複数印刷、図形の書き方編集、画像の編集と挿入などPOP広告まで、差し込み印刷やはがき、封筒の宛名などビジネスで使う昨日を学ぶ							
【講義概要】							
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、Ａ４紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しＡ評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。							
回	授業計画及び学習の内容						
１	日本語入力、文章入力のこつ、特殊文字記号、スペース、改行、改ページ、印刷方法、データ保存方法、WORD基本機能						
２	文字の書式（太字、下線、文字種類サイズ、横幅拡大％）段落、インデント、タブ設定、タブの使い方、ページ設定						
３	段落の書式、行間、ページ当たり文字数、均等割付け、コピー貼り付け、文字の移動、文字や長文の入力練習						
４	社内文書作成（定例会議お知らせ、社員研修会案内、忘年会案内）社外文書作成（新社屋移転案内）ぶら下げインデント						
５	段落、ルーラー表示、タブ設定、ぶら下げインデント、右インデントの活用、社外文書作成２　切り取り線つくる						
６	画像の挿入・編集・移動・サイズ変更・位置・トリミング、ページ番号、ヘッダ・フッタの活用、社外文書作成３						
７	表作成、罫線の編集、セル結合、セル内の入力編集、表の移動・配置、住所〒番号から住所表示の方法						
８	表作成応用、表の中に画像挿入、列幅変更、行や列の挿入と削除、表の作成、表のコピー						
９	表の中に表を作る、罫線の太さ、表の中でSUM計算機能　箇条書きの基本、行頭文字変更、スタイル登録と適用						
10	箇条書きの応用、スタイル登録と適用、アウトラインの活用、段組、アウトラインによる複数ページの見出しナビ機能						
11	EXCELグラフや表をWORDにリンク貼り付け、テキストボックスの作成、編集、活用						
12	差し込み印刷、はがき印刷（宛名面、うら面）、ワードアートと特殊文字、図形のグループ化						
13	PDFに変換、WEBに変換、アウトライン、POP広告ポスター作製、４００字紙印刷ほか、検定問題練習						
14	まとめと復習１						
15	まとめと復習２						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（　　　　　）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・成績は１００点を最高とし、６０点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
実教出版WORD３０時間、無限大WORD、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策 I	成田与志子	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	疑似言語 記述の規則						
2	疑似言語 プログラムの読み方						
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
6	ITパスポート 令和7年過去問題の解説						
7	中間試験対策						
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
14	ITパスポート 令和6年過去問題の解説						
15	期末試験対策						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
令和7年度春期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ		成田与志子	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	疑似言語 記述の規則						
2	疑似言語 プログラムの読み方						
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
6	ITパスポート 令和7年過去問題の解説						
7	中間試験対策						
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
14	ITパスポート 令和6年過去問題の解説						
15	期末試験対策						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
令和6年度 かやのき先生のITパスポート教室 栢木 厚 著							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	基本情報対策	末満 直樹	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験の合格を目指す。 科目A試験免除制度に係る修了試験に合格後は、科目B対策の問題演習を行う。							
【講義概要】							
科目A対策としてテクノロジー、マネジメント、ストラテジに関する問題演習、 科目B対策としてアルゴリズムの問題演習と解説をそれぞれ行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	問題演習－ 1						
2	問題演習－ 1 の解答／解説、問題演習－ 2						
3	問題演習－ 2 の解答／解説、問題演習－ 3						
4	問題演習－ 3 の解答／解説、問題演習－ 4						
5	問題演習－ 4 の解答／解説、問題演習－ 5						
6	問題演習－ 5 の解答／解説、問題演習－ 6						
7	中間試験						
8	問題演習－ 6 の解答／解説、問題演習－ 7						
9	問題演習－ 7 の解答／解説、問題演習－ 8						
10	問題演習－ 8 の解答／解説、問題演習－ 9						
11	問題演習－ 9 の解答／解説、問題演習－10						
12	問題演習－10の解答／解説、問題演習－11						
13	問題演習－11の解答／解説、問題演習－12						
14	問題演習－12の解答／解説						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー／ネットワーク等の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者試験の過去問題など							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策 I	井元和彦	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。						
【講義概要】						
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	過去問演習					
2	過去問演習					
3	過去問演習					
4	過去問演習					
5	過去問演習					
6	過去問演習					
7	中間試験					
8	過去問演習					
9	過去問演習					
10	過去問演習					
11	過去問演習					
12	過去問演習					
13	過去問演習					
14	過去問演習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当						
【教科書・参考文献】						
IPAが公開している過去問題、サンプル問題						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策 I	安藤 真理	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（ F E ）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習						
2	擬似言語 分岐と繰り返し						
3	配列①、再帰						
4	配列②						
5	二次元配列						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	探索						
9	リスト①						
10	リスト②						
11	木構造、ハッシュ表						
12	整列①						
13	整列②						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・ 課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、 6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・ 技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・ 参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版)（大原出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる							
【講義概要】							
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）						
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題						
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題						
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み						
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題						
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習						
7	中間試験						
8	図形問題（角度）						
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）						
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題						
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題						
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）						
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題						
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
【教科書・参考文献】							
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる							
【講義概要】							
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)						
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)						
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)						
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)						
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)						
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)						
7	中間考査						
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開						
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)						
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)						
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根						
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式						
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法						
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合						
15	期末考査						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
【教科書・参考文献】							
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー I	今村 朋子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
学校生活を送るための基本的なルールの徹底と社会生活のマナーの習得を目指します。挨拶の励行に始まり言動や行動に至るまで、なぜ必要なのかを理解し納得した上で習慣化を図ります。 ビジネスマナーが単なるルールではなく、コミュニケーションの土台になることを体験し、実践行動につなげます							
【講義概要】							
授業は講義と演習から構成され、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標としています。 楽しく学が意識改革と行動変容がテーマです。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	第1章 専門学校生としてのマナー マナーとルールの違い 授業のルール・学校のルールの確認 敬礼と挨拶						
2	第1章 好感度アップのポイント 第一印象決定要素 身だしなみの基本 敬語の知識 状況や立場による話し方を理解する						
3	第2章 外出先でのマナー 日常の立ち居振る舞いについて 公の場や家庭でのマナー						
4	第2章 接遇について 訪問とおもてなしを知る 茶菓接待・ワンランク上のおもてなし						
5	第3章 食事のマナー① 食事の作法と歴史 箸遣いの基本 和食・日本料理のいただき方						
6	第3章 食事のマナー② 食文化・料理の文化を学ぶ 洋食・フランス料理・中華料理・デザートのいただき方						
7	中 間 試 験						
8	第4章 書き方のマナー① 手紙・封筒・はがきの書き方						
9	第4章 書き方のマナー② ビジネス文書 社内文書・社外文書・社公文書について						
10	第5章 人生の節目のしきたり① 贈答の知識とマナー						
11	第5章 人生の節目のしきたり② 慶事・弔事のマナー						
12	第6章 社会人としてのマナー 社会人への心構え、 ビジネスマナーの基本						
13	第7章 年中行事と暮らしの歳時記 人生時間の歳時記 日本の文化と伝統を知る						
14	第8章 国際人としてのマナー 国際社会でのマナー 多様性を受け入れる 挨拶、ジェスチャーの違い等						
15	期 末 試 験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「うかる！秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「楽しく学べるマナーの基本」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	経営	古郡聡	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。							
【講義概要】							
授業テーマごとにテキスト『IT戦略とマネジメント』に基づいて解説した後，毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企業活動の目的						
2	企業会計						
3	オペレーションズリサーチ(1)						
4	オペレーションズリサーチ(2)						
5	経営工学・品質管理						
6	法務と標準化						
7	中間試験						
8	経営戦略マネジメント(1)☒						
9	経営戦略マネジメント(2)☒						
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ						
11	e-ビジネス						
12	情報システム戦略						
13	情報システム企画						
14	開発技術						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%			25%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事。企業のIT系研修及び情報系専門学校にて講師を担当。							
【教科書・参考文献】							
『IT戦略とマネジメント』(株)インフォテック・サーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		1 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習 I		情報処理科 3 年制 担当教員	無	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4	学園祭準備（1 日目、2 日目）						
5							
6							
7	学園祭（1 日目）						
8							
9							
10	学園祭（2 日目）、後片付け						
11							
12							
13	秋のハイキング						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		1 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	実習	課外活動 I	情報処理科 3 年制 担当教員	無	1 単位 15 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。

【講義概要】

参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に 1 単位を認定する

回	授業計画及び学習の内容
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合 (補足)				50%	50%	100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-